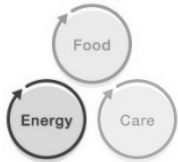


- 1 食の安全にこだわります。
- 2 健康な食べ方を大切にします。
- 3 国内自給力アップをめざします。
- 4 遺伝子組み換え作物を認めません。
- 5 有害物質ゼロをめざします。
- 6 自然資源を大切に使います。
- 7 ごみの削減に取り組みます。
- 8 原発のない社会をめざします。
- 9 おたがいにたすけあう社会をめざします。
- 10 自分たちで決めて、自分たちで実行します。

FEC自給ネットワーク

生活クラブは、全国32の生活クラブ生協のネットワークで、F (Food) E (Energy) C (Care)の自給できる地域を作りだし、サステイナブルな社会の実現を目指します。
※FEC…Food(食べもの)、Energy(エネルギー)、Care(福祉)の頭文字をとってFECと呼びます。

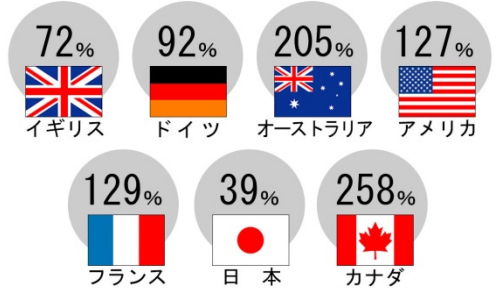


(Food) : 食べもの
「安全」は誰かにお任せするのではなく、
みんなでつくり続けていくもの



日本の食料自給率は1960年代から約50年で激減し、先進国では最低水準の39%になってしまいました。世界人口の増加や気候変動による天候不順などにより、自給率の低い日本ではたちまち大きな影響を受けることになります。そんな中で、私たちは可能な限り国産原材料の使用を追求し、国内の平均値より高い「自給率」を実現してきました。これは組合員と生産者が作り上げてきた大切な消費材の価値の一つです。

世界の食糧自給率(カロリーベース:2011年)



だから国産！生活クラブの5つの理由



理由① 産地や栽培方法が分かる

加工食品の原材料は国産を基本に、原産地や栽培方法までわかるものを目指しています。生活クラブでは直接組合員が産地へ行き、提携関係を深めています。

理由② 食料の安定確保ができる

世界的な異常気象や人口増加などにより、穀物の不足と高騰が続いています。今後、海外の食料を安定確保することはもっと難しくなっていきます。生活クラブでは国内産の利用をすすめる、国内産地との信頼関係を築いています。

理由③ 畜産物の飼育方法が明らか

生鮮肉と違って加工食品の原材料には、一部を除いて原料原産地の表示義務がありません。そのため市販品には原料原産地を確認できないものが多くあります。生活クラブでは、提携産地のものを中心に、どこでどんな環境で何を食べて育ったのか、できる限りトレーサビリティ(追跡可能性)の確かなものを使用しています。

理由④ 遺伝子組み換えの心配なし

現在、遺伝子組み換え作物の栽培は世界中に広がっています。生活クラブは、1997年1月に「遺伝子組み換え作物・食品は取り扱わないことを基本とする」と決定し、生産者と協力して対策を進めてきました。



理由⑤ 食べることが作り手を支える

鶏卵や鶏肉は国産鶏種、牛肉は健康に育てた牛による国内での一貫生産、水産物は沿岸および近海の漁獲物を基本にした規格など生産者との取り組みを、食べることで支えています。

私たちは、主原料だけでなく微量な原料やエサの中身まで、生産者とともに国産原材料を追求してきました。日本でつくられたものを食べ続けることは、私たち自身の食の安全や安心に直結するだけでなく、次世代の子どもたちの食卓につながり、また国内の農地や海などが守られることで環境保全にも役立っています。

2016年9月1日から

設立30周年=未来へ=



生活クラブ共済ハグくみの制度が もっと良くなります!

共済ならではの特長! 共済の制度改定は「すでに加入している人」にも適用されます。

「生活クラブ共済ハグくみ」ってこんな共済

- ◆掛金はずっと1,000円
- ◆持病がある人でも入れるやさしい共済
- ◆退院後のケアも応援
【退院後サポート金】【産後サポート金】
- ◆組合員の声で作り変えていける共済



※「退院後ケア共済金」は「退院後サポート金」に、「産後ケア共済金」は「産後サポート金」に、よりわかりやすく名称変更します。

1995年、神奈川県で生まれた「ステップ共済」は、組合員が組合員のためにつくった独自の医療保障です。そして、同様の保障を「たすけあいの消費材」として、たすけあいの理念とともに全国に広げようと、2013年9月「生活クラブ共済ハグくみ」が誕生しました。この生活クラブオリジナルの共済は、全国で約4万人が加入するまでに成長してきました。その結果、2016年9月から保障内容をもっとよくすることができたのです。

ココがよくなる! その1

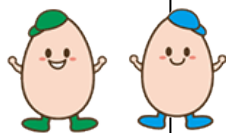
★ケガ通院1日目から!

2015年1月に実施した加入者アンケートの質問で、「充実させてほしい保障」では「ケガ通院1日目からの保障」が45.2%と最も多い要望でした。これを実現できたことで、日頃起こりうるちょっとした事故に対応する身近な保障という、生活に密着した保障にさらに近づきました。

これまで ケガで2日以上通院した場合、
2日目から10日分の保障

↓

改訂後 1日目の通院から10日分保障



ココがよくなる! その2

★出産祝金が1年以内の出産も満額に!

組合員みんなからの、組合員の出産に対してのお祝いです。出産祝金減額規定の見直しは、事由発生をリスクと捉える営利目的の保険とは正反対の考え方です。「おめでとうの気持ち」に減額規定はいりません。

これまで 加入から1年以内の出産には、
半額の2,500円の祝金

↓

改訂後 加入から1年以内の出産でも5,000円



※「産後サポート金」は従来通り、妊娠中で告知該当の方は、支払い対象外です。

ココがよくなる! その3

★ママもパパも出産祝金請求可能!

子育てを頑張るママ・パパをみんなで応援し、若い世代の仲間を増やして、すべての年齢の加入者で育んでいきましょう。

これまで ママ・パパ両方加入している場合にも、
1世帯に1人分のみの祝金

↓

改訂後 ママ・パパ両方加入している場合は、
それぞれに5,000円の祝金



どうして制度改定できたの?

加入者が増えたことで実現できました。アンケートを実施し、自分たちに必要な保障内容に“自分たちでつくり・かえる”ために、組合員が参加する制度改定プロジェクト会議で話し合いました。これってとっても生活クラブらしい活動ですよ。

ハグくみに加入して、
たすけあいの輪に
入りましょう

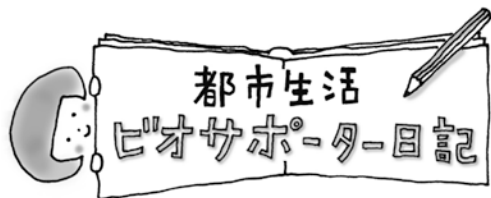
家族や友だちに
すすめましょう

ハグくみのことを
話題にして
みましょう



夏の共済キャンペーン実施中!

ハグくみ、CO・OP共済、エッコロの三つの共済で暮らしの安心を。何でも職員にお声かけ下さい。



ビオサポ基礎講座

～健康に役立つ情報がいっぱい！～

6月2日、私学会館で行われたビオサポ基礎講座を25名の組合員が受講しました。講師は今回も、生活クラブ連合会「健康な食」推進課の猪狩さんと連合会職員で管理栄養士でもある國井さんでした。



トクホは健康にいいの？

まず、CM等でよく耳にする、トクホ(特定保健用食品)について。トクホの表示のある飲み物のラベルには、いかにも効果があるように書かれていますが、効果を期待するにはかなりの本数を飲まなければならないそうです。また、昨年新たに『機能性表示食品』制度もでき、事業者が届け出れば、国の審査なしで効果を表示できる食品も出回るようになりました。

1世帯当たりの平均食費は、肉食(生鮮品等)にける額が年々減っているのに、健康食品(サプリメント)は増え、今や野菜の市場と同じ2兆円とのこと！「将来、野菜よりサプリでいいとなれば、安心安全な野菜が作られるのか不安ですよ」との言葉に同感でした。

微量栄養素が大事です！

栄養素についてのお話では、目に見えない微量栄養素(ビタミン、ミネラル)の重要性を再確認。ミネラルは神経系にも関わっているため、不足すると体がだるい、やる気が起きない状態になりやすくなる可能性もあり、新型栄養失調に陥るそうです。緑黄色野菜や貝類、小魚、豆類、海藻類は、ビタミン、ミネラルの補給源に最適。肉類の消費だけが増えている今日、とにかくバランスの良い食事を心がけることが大切だと思いました。

ココが違う！「丹精國鶏」

後半は、ビジョンフード(主要品目)の鶏肉学習会。たんぱく質は体をつくるのに欠かせない、年齢を問わず必要な栄養素で、18歳から70歳以上まで、必要摂取量は同じとのこと！鶏肉は高たんぱくで、皮無しだとかなり低脂肪です。私たちが食べている「丹精國鶏」(はりま)は、3世代前まで生産履歴をたどれる純国産の鶏で、飼料も飼い方も一般的なブロイラーとは全然違います。きめ細かな肉質で食味が良いと評判だそうです。「安心・安全とおいしさはつながっている」という猪狩さんの言葉に納得でした。

生活クラブ連合会ウェブサイトのビオサポやレシピ大事典には、鶏肉を使った簡単レシピや鶏肉の調理法がいっぱい。ぜひ参考にして、「丹精國鶏」(はりま)を皆で食べ続けましょう！

これいい♪クラブに参加しよう！

組合員のためのコミュニティサイト。料理レシピや省エネのコツなど、毎日をもっと楽しくするアイデアが満載！

<http://koreii.jp>



猪狩さんの

失敗しない「鶏ハム」

[材料] 基本の分量

ムネ肉 2 枚に素精糖と真塩を各大さじ 1

[作り方]

- ① 前の晩に素精糖と真塩をまぶして冷蔵庫に入れる。
- ② 朝、鍋に湯を沸かして①を入れ、弱火で 5 分茹でる。
- ③ 火を止めて蓋をして 8 時間ほど放置。
- ④ 夕食にスライスして食卓へ。季節の野菜を添えて。

※ 茹で汁を温めて塩、こしょう、醤油で味を調え、わかめ、長ねぎを入れてスープに。



現地集合で生産者訪問！

支部企画での生産者訪問の多くは、組合員がどこかに集合して大型バスで現地に訪れるため、参加者数が限定されます。現地集合の企画では、広く組合員家族の参加が得られるようになり、参加者も増えています。

● 玉ねぎ引き体験 ～愛農会～

愛農会とのおつきあいは生活クラブ都市生活が生協になる前の共同購入会の時から。無農薬の野菜を作ると組合員が依頼し、言うだけでなく、フェリーで淡路島まで毎週のように除草などの援農に通ったそうです。生産者はそれに応えて無農薬の野菜を作り続け、組合員はできた作物がどんなものであってもきちんと食べることで、顔の見える関係をつくってきました。

毎年続いている玉ねぎ引き体験を、5月22日(日)、初めての現地集合企画として西神戸・東神戸・西宮の3支部合同で開催し、29家族92名(大人52名、子ども40名)の参加がありました。

10時30分、南あわじ市北阿万地区公民館に集合し、6生産者の畑に移動して玉ねぎ引き。今年が多雨で、みずみずしい反面、傷みが早く廃棄になる玉ねぎも多いとききました。また土づくりのこだわりや、その堆肥にする牛糞は近所の生産者からもらっていることなど、現地に行ったからこそ聞くことができました。



畑での昼食後、全員で交流会。3人の若い後継者の紹介があり、「無農薬で作る手間、維持していく大変さなどの苦労はあるけれど、組合員が来ると元気がもらえる。」との嬉しいお話もありました。

参加者からも家族で体験できて良かった、風や匂い地形の事など現地に行かないと分からない事ばかり、生産者さんのおしゃべりもとても楽しかったなどと感想をいただきました。時間的にも無理なく、その後少し淡路島を楽しめる時間設定も良かったと思いました。



農家は機械で植えますが、私たちは体験として手植えを教えてもらいました。

● 交流の田んぼで田植え ～JA兵庫六甲～

JA兵庫六甲環境創造米の取組みが始まり、今年で10年目を迎えます。交流の田んぼは私たちの活動エリアから近く、いつも現地集合で開催しています。JA兵庫六甲の生産者と職員、お米を精米する全農パールライスと食べている生協組合員が、一緒に企画しています。今年は5月28日(土)、三田北神・宝塚・西宮の3支部で企画準備を担当して開催し、33家族92名(大人44名、子ども48名)の参加がありました。

最初に田んぼの生き物調べをして、JA職員の近藤さんから田植えの説明を聞き、機械植えを見たあと5組に分かれて田植えをしました。そのあと、生産者紹介をかねたクイズをしました。環境に左右される米づくり、植えた1つの苗(3本～5本)でお茶碗5杯位のお米ができること、生産者は兼業農家が多いことなどを生産者からも直接説明してもらいました。企画が終わっても、田んぼの周辺散策を楽しむ参加者の姿がありました。

生産地へ家族で行って体験したり、生産者に会ったりということ希望する組合員が少なくないと感じます。今後もさまざまな形で生産地交流を大事にしていくべきだとの思いを、改めて感じました。(理事 島村美穂)

NONちゃんのGM(遺伝子組み換え)講座



Q: 品種改良と遺伝子組み換えの違いは?

A: 交配による品種改良は自然の営みの延長線上にありますが、遺伝子組み換えは、異なる種の遺伝子を強制的に組み込む技術のことで、

植物・動物の種の壁を越えて、自然界にない新しい生物を作り出してしまいます。

Q: バスタ耐性って?

A: 自生調査では、RRとLLと書かれた2本の試験紙を使って

GMナタネ自生調査

機関紙モニターの質問にお答えします

GMかどうか検査しますが、RRはラウンドアップ・レディの略で、モンサント社の除草剤ラウンドアップに耐性のあるGM作物。LLはリバティ・リンクの略で、バイエルクロップサイエンス社の除草剤バスタに耐性のあるGM作物です。

近年はLLが増え(当初はRRが多かったが、ラウンドアップで枯れないスーパー雑草が登場し、農家がLLに切り換えたとみられる)、両方に耐性を持つものも増えています(違う会社の製品なので両耐性はあり得ない。交雑が広がっている証拠)。

シャボン玉フォーラム in 東京 参加報告

とどけ！未来へ！せっけんライフ～水はみんなの宝もの～
 せっけん使おう！6・7月はシャボン玉月間

石けんで水の惑星地球を救え！

～未来へつながる『いのちと水』の物語～



5月13日～14日、シャボン玉フォーラム in 東京が行われ、組合員3人で参加しました。シャボン玉フォーラムは「せっけんを入りに、環境を考える」フォーラムです。環境運動をしている全国の生協、農協、漁協、その他の団体や地域の人でつくる「せっけん運動ネットワーク」の主催で毎年開催されています。

今年のフォーラムテーマは「水」

限りある資源である水、いのちの源である水を大切に、次世代に豊かな環境と美しい地球を残すために、今、私たちができることを考え、持続可能な暮らし方をすすめるための学習機会となりました。

全体会の基調講演は、世界規模で問題となっている海洋汚染の実態について学び、私たちが日々どれほどの水を使い、また汚染に加担してしまっているのかを認識し、暮らしを見つめ直すものでした。

合成洗剤の主成分である合成界面活性剤や蛍光増白剤等が水環境に及ぼす影響は、生活クラブ都市生活でも常に学習し伝えてきていることです。しかし、依然として家庭から洗濯や台所の雑排水として流される合成洗剤が、雨が多く降ると下水処理場で処理されずに海に流れ、海底に溜まることが確認されています。洗濯や掃除に使う家庭用の洗剤が環境を汚染する、つまり、生活することで私たちが環境汚染の加害者になっていることに、講演を聞いてあらためて気づかされました。

今、ペットボトルなどのプラスチックの海洋汚染がクローズアップされています。講演した高田秀重先生によれば、プラスチックの食器には、飲食に使用すれば添加剤が溶け出して直接私たちの身体に入る懸念がある、埋め立てれば有害化学物質が

溶け出して地下水や河川を汚染する、燃やせばダイオキシンが発生する、海に入れば微細片となり、それらを誤って食べる生物にも蓄積するそうです。「洗剤を使わないからエコ」という掃除用消しゴムもその元凶のひとつだそうです。

生活クラブでは、ごみはリデュース（減らす）→リユース（繰り返し使う）→リサイクル（作り直してまた使う）の順で取り組んでいます。リサイクルをしているからと安心するのではなく、プラスチックを使う量を減らさなければ意味がありません。限りある資源を有効に繰り返し使う循環型社会＝サステナブルな社会をめざすことを、参加者全体で共有しました。

アスケー石鹸(株)を見学しました

フォーラム終了後、オプション企画として埼玉県にあるアスケー石鹸の工場見学に参加しました。生活クラブで取り組んでいるせっけん類は全てアスケー石鹸製。交流学习で来ていただくことはあっても、遠くてなかなか生産現場に行く機会がなく、初めてのせっけん工場見学はとても有意義でした。

インターネットなどで見る合成洗剤のバーチャル工場見学では、工場は巨大化学プラントで人の姿がほとんど確認できません。ところがアスケー石鹸の工場では、いたるところに人、職人さんたちがいて、多くの工程に人の手が加わってせっけんができていきます。粉せっけんの製造現場は、せっけんの粉じんが飛散する暑い環境にあり、大変なご苦労がしのばれました。せっけんを作って下さっている作業環境を、ほんの一時ですが、共有することができ、せっけんを無駄なくしっかり使っていこうという思いを強くしました。

キャップの閉まり具合も手で確かめます。



参加者：
 高岡敦子（理事）
 岸本麻紀（理事）
 草野睦美（せっけんクラブ）

同時配布のお知らせで、せっけん運動カンパの追加募集をしています。活動を続けていくために、カンパに協力をお願いします。（今回の参加費用の一部をカンパでまかないます。）



東はりま支部

生活クラブ都市生活では、10の支部を作り、自分たちの身近なエリアで多彩な組合員活動をしています。

わいわい ♥ きらきら ♪

東はりま支部では、一緒に調理をする企画に力を入れています。

●支部ミーティング「わいわいカフェ」

月1度、登録しているモニットが集まる支部ミーティングを「わいわいカフェ」と名付け、その名のとおりわいわいとアットホームな雰囲気です。その中のピオサポタイムでは、モニットと一緒に、簡単だけど満足できる調理を行っています。今年の4月、モニットのオリエンテーションでしたマーレードと醤油に漬けた豚肉を焼くだけのお手軽レシピは、ほどよい甘さでお肉もこころなしか柔らか、ごはんがすすむ一品となりました。野菜を加えたり、お肉を変えたりとアレンジも多彩で大変好評でした。

●子育てひろばきらきら

一方、子育てひろばきらきらでは、食育プロジェクトメンバーによる本格的な調理を数多く行っています。子ども連れはもちろん、大人だけの参加も多くあります。5月は竹の皮を使った中華ちまきを作りました。ちまきを巻くのは初めて、ましてや自分でちまきが作れることに感動した参加者もいたほどです。

==*==

今年度、支部のテーマ消費材は青果物です。毎年夏休みには親子クッキングを実施しており、8月にはウインナー作りをします。



ほっとコミ「親子クッキング〜生豚ミンチでハンバーグを作ろう〜」で (2015年8月)

子どもがもりもりと食べてくれるような、野菜をふだんに使ったメニューも併せて提案します。

一緒に調理をすることで、家族や友人にも食べてもらいたい新たなお気に入りが見えてくる場にもなればと思います。

東はりま支部クリエイター 重田聖子

今月の組合員

村田 久恵さん 西神戸支部 1993年6月加入

「世界が食べられなくなる日」という衝撃的なタイトルにつられ、昨年久し振りに支部企画に参加しました。映画の内容は怖いものでしたが、生活クラブ都市生活を続けていれば安心という思いも同時に感じました。

また、クリエイターとして活動していた頃と変わらない食に対する思いは、孫ができた今、一層強くなったように思います。安心な消費材が毎週届き美味しくいただけたら、こんなに幸せな事はありません。生産者の方との顔の見える関係も安心なところです。

今わたしは親の介護で超多忙な毎日ですが、生活クラブ都市生活の消費材のおかげで超元気です。生活クラブ都市生活に感謝です。

メルマガ都市生活より

私のおススメ消費材

毎週日曜、「メルマガ都市生活」を配信しています。その週に注文メ切になるカタログの消費材について、実際に利用している組合員が案内しています。ウェブサイトの「メルマガ購読」から申込み、お手持ちの紙にお名前、組合員コード、メールアドレス、「メルマガ希望」と書いて、配達職員にお渡しください。

==こんなふうに消費材を紹介(5月29日配信号より)==

▼△▼△▼△ 今週はコレ注文してね ▼△▼△▼△

注文番号*** 万能つゆ900ml 580円(税込626円)

タイハイ(株)より

コレ、関西の組合員が開発した消費材!これ1本で料理の味が決まる優れもの。この消費材との出会いは…いつもの500mlだと思って注文して、届いたら900mlでビックリ!…でした。これが1本冷蔵庫にあると安心〜。我が家は1人1.5人前の麺を食べる麺食い家族。万能つゆは欠かせません!

つれづれとしせいかつ 徒然都市生活

食の安心のバトンをつなぐ

生活クラブ都市生活の仲間が書くエッセー
30 年に思うこと

生活クラブ都市生活がまだ共同購入会の時に、幼稚園と小学 1 年生の子どもが牛乳大好きで、加入しました。週 6 本頼んでいたことが思いだされます。もう 30 年以上前のことです。

愛農会の野菜・淡路島の豚肉に出会い、生産者との活動が始まりました。丹精こめて作られた消費材を食卓で食べる時にその生産者の顔を思い出しながら贅沢を感じていました。

ずっと消費担当で「こんなものを作ってほしい！」と生産者に依頼し、その生産物がカタログに掲載されると、組合員全員が利用してほしいと思ってきました。生産者に依頼したからには食べ続けられないといけないということを活動で語ってきました。夕食を食べながら、「食卓の消費材のうち何人の生産者の顔が浮かぶかしら？」と話題にしました。そのうち職員と、北は北海道から南は九州まで生産者訪問しました。

活動を何年か続けて、私の食卓に上がる消費材の生産者の顔がすべてわかるようになりました。それでも、限られた組合員と生

産者訪問して生産物に対する思いを聞いて組合員に伝えても、数が知れているし、思いが全て伝わらないもどかしさを感じました。そこで生産者に神戸に来てもらい、多くの組合員の前で語ってほしいという思いから、さまざまな生産者と交流する企画を考えました。こうして生活クラブ都市生活と出会う活動してきました。



最近娘が孫を連れて玉ねぎ引き体験に参加して、「今日、愛農会の仲山さんが作る責任と食べる責任のことを話しておられた。お母さんが昔話していたことがよくわかった。」と電話してきました。娘は結婚を機に組合員になりました。子どもができると、子どもがいる友だちに生活クラブ都市生活の食の安心安全を伝え、組合員に誘っています。仲間を増やす大切さを感じているからです。娘の次は孫へと、食の安心のバトンを繋いでいきたいと思っています。

(都市生活コミュニティセンター理事長 林佳子)

理 事 会 報 告

2015 年度第 13 回理事会報告 2016.5.30.10:00-16:45 於神戸市勤労会館 409
(報告承認 5 項目、協議決定事項 4 項目 省略)

- 30 周年企画「絵本ライブ」の準備状況を確認した。組合員への OCR 申込、外部販売、広報告知活動スケジュール等。
- 連合会の「単協広告支援」への申請と具体化計画について 30 周年企画と子育て世代への広報の 2 テーマに関して支援予算を得たことから、絵本ライブを使つての広報計画案及び秋にむけての子育て世代向け広報拡大の検討状況について報告し、確認した。
- 職員・夏季賞与の支給について決定した。
- 30 周年企画「おうち de カフェ」の企画提案を確認した。組合員がひとりでも参加できる仲間づくり企画として取り組む。
- 第 30 回通常総代会の開催・運営に関する確認。当日進行、準備物、各支部議案書説明会での質疑状況など役割分担にしたがって、担当からの報告と提案を確認した。
- 住吉川小水力発電について、組合員組織として「住吉川小水力発電所を実現する会」をつくり、兵庫県の立ち上げ支援制度に申請応募することを確認した。
- 「電気の共同購入」の進捗と対応強化について検討した。職員活動計画について確認した。

(諸会議報告)

連合理事会、各委員会の報告および各担当理事会の報告を共有し、単協意見提出について確認した。

(事業報告)

4 月決算報告を受けた。4 月供給高は予算比 98.9%、経費は予算比 95.9% と共に下回った。
年度末決算処理の関係で 4 月供給剰余率が予算を下回ったが、経常剰余は計画より 85 万円ほどよい結果となった。5 月加入は 211 名で計画を 24 名下回ったが、脱退は 93 名で計画からは 32 名少ない。



Q 「30 周年記念消費材」について教えてください。

A ■「30 周年記念消費材」とは
生活クラブ都市生活は、今年、

設立から 30 年になります。そこで、生産者の協力で 30 周年を祝う消費材を企画することにしました。みんなで「30 周年記念消費材」を注文することで、一緒に 30 周年を祝いましょう。

■取り扱うものは…

生産者から特別価格で提供してもらう消費材や、生活クラブ-食べるカタログ-では扱っていないけれど生活クラブの基準にあっているものなどです。数量の関係で生活クラブ全体では扱えないというお得な消費材や、季節限定のレアな消費材など、生産者から特別に提案してもらった…注文しないと損！なものばかりです。

■載っているのは…

奇数企画週に「30 周年記念消費材企画」の案内チラシがカタログと一緒に届きます。インターネット注文はできないので、専用の申込欄に記入して提出してください。どんなものが登場するか、チラシに注目してくださいね！

申込書(OCR)で
申込み受付中!

女優・室井滋さんと絵本作家・長谷川義史さんの とっても楽しいトークライブ!

室井さん自身のエピソード「しげちゃん」にまつわるお話や音楽にのせての朗読など、楽しさ満載のコンサートです。昨年の絵本ライブに、ピアノの大友剛さんとサクスの岡淳さんが加わり、さらにグレードアップしたフルバージョンでお届けします。

小さな子どもから、おじいちゃん、おばあちゃんまで老若男女、朗読の時の七色に変わる室井さんの声色に思わず聞き入ってしまいます。長谷川さんの楽しいおしゃべりにつつい笑顔が…

ふとした瞬間の人それぞれのしあわせ。へいわって何だろう。夏休み最後の思い出に、大切な誰かと一緒に、家族の団欒に、一緒にみんなで楽しむために、会場へ足を運んでみませんか? 昨年行きそびれた人、もう一度見たいと思っていた人、組合員のお友だち、組合員じゃないお友だちも誘って、ぜひ心温まるひとときを過ごしましょう。

チケットは4週連続、いつもの注文と一緒に申し込みを受け付けますが、席がなくなり次第終了です。お早めにお申し込みください。



2016年 8月 30日(火) 13:00~14:30
神戸文化ホール 中ホール **全席自由**

大人 1500 円

子ども 800 円

注文番号	数量
<input type="text" value="2373"/> <small><1></small>	<input type="text" value="1"/> 個

注文番号	数量
<input type="text" value="2366"/> <small><1></small>	<input type="text" value="2"/> 個

**くわしくは今週配布している
チラシを見て申込んでね。**

職員こぼれ話 本部センター職員 吉田 征仁

生活クラブ都市生活の職員が、日ごろの業務、身のまわりのできごとを通して見たもの、聞いたことをお伝えします。

ガンバ! ガンバ!

意識高い系スポーツと噂のボルダリングを始めました。カラフルなウェアを纏ったオシャレな若い女性も多く、専用ジムも洗練されています。仲間に来てワイワイと楽しそうにしているので40代半ばのおじさんが一人で気軽に入っていけない雰囲気。しかし意を決して登り始めると「ガンバ!」という掛け声はどこからか飛んでいます。このオシャレな雰囲気ですつかわしくない声援。エ?と驚き、聞き間違いだろうとやり過ぎていたら知らない者同士でも「ガンバ! ガンバ!」と盛りが上がっています。しばらくの間はオシャレな雰囲気のなか、小つ恥ずかしい昭和テイストな声援が飛び交うジムにギャップを感じていました。そんな私も今は遠慮なく「ガンバ!」と声援を送り、登る時には小さな声で自分に向けて「ガンバ」と気合を入れています。平成生まれの若者にはグレードでは叶わないけど声援だけは負けないようにと「ガンバ! ガンバ!」と掛け声を送ります。

6月号より **機関紙モニターのつがき**

電気の共同購入

電気の小売り自由化により購入先の選択が広がり、各電力会社のプランを比較しどこがお得でメリットがあるかという視点で検討しようとしていました。「お得なプランではなく節電することで電気代を抑える」ということ、当たり前のことだけどつつい「お得」に目がいってしまう人も多いと思います。より多くの人がこの様な視点で電気会社を選べば、今後原発に頼ることなく持続可能な低エネルギー社会の実現に近づけると感じました。意識改革が広まるといいな、と思います。(宝塚 M.H)

編集雑感 第30回通常総代会が6月13日に行われました。活動は新しい年度が4月から始まっていますが、生協としてはこの日から新年度が始まります。理事も2人増えました。新しいしくみ『エコロたすけあい制度』も始まります。他の地域の生活クラブで取組みが進んでいるエコロ、私たちはどんなしくみにしましょう? もちろん私たちが作っていきます。私には必要ないわ…なんて言わないでくださいね。「エコロがあつてよかった」と言えるように、手を携えていきたいですね。手と手を合やす図柄のエッコロマスコット「えこぴよん」のように。(T)